

第3回 阿賀野市市政モニター会議 議事要旨

1 会議の概要

日 時 令和2年 11月 24 日(火) 午後 7:00～8:30

場 所 阿賀野市役所 第1・2多目的ホール

出席者

【モニター】(敬称略)

神田 奈緒、小林 武徳、本多 聡美、長谷川 健太、田村 直子、
斎藤 斉、加藤 美紀、北村 直之

【市】

市長政策・市民協働課:課長補佐 遠海 美穂子、
秘書広報広聴係係長 小林 政仁、同係主事 皆川 佳乃子

2 議事概要

・総合計画の政策体系ごとの意見・提言について

3 主な意見(○:モニター、●:市職員)

【市内の介護サービス】

○実際、市内の介護施設は足りているのか？

○特別養護老人ホームでいえば、ここ5年くらいで新しい施設がオープンし、以前よりも施設は増えている。また、入所の要件が原則要介護3以上になったことで、6か月くらいで入所できるようになってきたと確か議会で話していた。特に要介護4以上であれば順位が上なので、希望する場所にもよるが割と入りやすい状況らしい。

【市の観光PR】

○サントピアワールドは、何年も前から民事再生中であり、ようやく何とか自力で再生できそうだという明るい見通しがあつた中、春先にコロナウイルスが感染拡大した。冬は営業しないので、春から秋までの間、特にゴールデンウィークなどに稼がないと翌年の運転資金がないという状況の中、5月にクラウドファンディングを始めた。そうしたところ SNS で広がって、クラウドファンディング終了時には寄附を含めると目標

5,000 万円に対して 5,500 万円集まった。さらに、地元の新聞テレビはじめ、地元局など取材が殺到し、秋には全国放送で朝のワイドショーから何かと次々取り上げられて、広告宣伝費で考えたらとんでもない額になるだろう。民事再生中なので行政が援助、手出しできないのは分かるし、じゃあ何かできるのかと考えたとき、観光 PR って何だろうという素朴な疑問が湧く。決して予算組んで行政が地道にやるパンフレットが悪いわけではなく、継続は力なので、それも必要だけれど、発想の転換、アイデアによってできることがたくさんあるのだとつくづく感じさせられた。

○市のホームページには観光PRは何が載っているのか。

●瓢湖でいえば、ライブカメラや動画配信など、力を入れているところ。

●阿賀野市観光協会のホームページがあって、観光情報がきれいにまとまっているホームページなので、市のホームページから観光協会のホームページに行ける仕組みを作っている。

○阿賀野市としては一番推している観光は瓢湖なのか？

●瓢湖に限らず、五頭温泉郷、サントピアなどは観光入込客数が多いので…。

○五頭温泉郷に泊まっている観光客は、瓢湖だけ見に来るわけじゃない。サントピアも行き帰りでヤスダヨーグルトに寄ったり、みるばすに寄ったりと、人が来るというのは、1箇所だけの話ではない。仮にサントピアワールドがなくなったら、その周辺への影響は計り知れない。

○新しく観光施設を作ることは考えていないか？

●どちらかというと、今あるものを生かし、磨きをかけて発信することを考えている。

●これから大きいところだと道の駅がある。

●阿賀野市のここをもっとPRしたらいいなというところはあるか？

○阿賀野市立図書館にカフェやレストランがあればいいと思う。また、図書館だけじゃなく、裏の公園も活用した上でPRしたらどうか。新潟から近いので。

○少し話がそれるが、新潟市から阿賀野市に向かってきて山並みがきれいなのに、京ヶ瀬体育館の赤茶けた屋根を見るとがっかりすると言われたことがある。

【農業の区画整備と担い手確保】

○農地の集積・大規模化と、区画整備を早く進めてほしい。併せて担い手育成も。

【市内の商工業事業者】

○先ほどのサントピアワールドと視点は同じだが、亀田製菓は、昭和 46 年に水原工場が操業開始した。送迎バスも出て、近くの人だけじゃなく、みんな喜んで勤めに行ったという経緯がある。5年くらい前に施設が老朽化しているを知っていたので、新発田市あたりは都市ガスで用地もたくさんあるので、「優遇するから来てください」なんて言われたら、移転してしまうのではと心配したが、その後4年かけてリニューアル工事が完成した。

当然のことながらコロナで大変だ、苦しいという報道がされている中でも、業種などによっては特需の企業もある。ただそれはたまに報道されるが、ニュースとしてあまり取り上げられないというのが現状だろう。

亀田製菓はちょうどリニューアルが終わったこともあって、水原工場はフル操業、かなりの業績になっている。「市勢要覧 2020」の中の商工業の欄に、4人以上の食料品製造業の事業所が 18 社、従業員数 1,210 人と載っている。これだけ見ると、そうなんだで終わりになるが、亀田製菓の勤務者が 426 人いることと併せて見ると、亀田製菓が 35%を占めていることが分かる。また、時期や金額、物差しが一緒かどうか分からないため、正確には言えないが、食料品製造業の年間製造品出荷額 324 億円で、水原工場の出荷額は 180 億円と公表されているので、約 56%を占めている。亀田製菓が移転したら阿賀野市にとって、とんでもないことになる。市勢要覧を見て、亀田製菓が移転しなくて良かったとつくづく実感した。

【ごみ処理券（シール）】

●以前、市長へのたよりで、新潟市や新発田市のように指定ごみ袋方式にしてほしいという意見が寄せられた。その意見について回答と併せて「広報あがの」に掲載したところ、別の方から、現在のごみシール方式を続けてほしいという意見が寄せられた。皆さんは、どちらの方式が良いか。なお、新潟市の場合、45リットル10枚で450円、1リットルあたり1円を負担し、個人がスーパーなどで買う運用である。どちらがいいか挙手を。(全員が現在のごみシール方式が良いと回答)

○スーパーのレジ袋が無料のときは、レジ袋がいくらでも溜まったので、ごみが余程大量でなければ大きいレジ袋で間に合っていたが、これから先どうなんだろうと思う。状況が前とは少し違うなと感じている。

●阿賀野市の場合、レジ袋をもらわなければ何かしら袋が必要だと思うが、皆さんは今までレジ袋で出していたけど、有料化に伴いマイバックを持つようになったから、他の袋で出しているとか、有料化に伴って何かごみ捨てについての変化はあったか。

○スーパーのごみ袋だけでは足りないの、以前から45リットルの袋を買っている。

●ごみシール方式が良い理由は何か。

○ごみシールの方が融通が利く。

○ごみの量が毎回違う。それに合わせて袋を毎回選ぶのは面倒だから、シールの方が楽で良い。

○無償配布されたシールで足りる人であれば不満はないと思う。ただ、足りない人は、買わないといけない。そうなるとなんか嫌だなと思う。

○指定ごみ袋にしても結局は購入するのではないか。

○指定ごみ袋と市販のごみ袋はどっちが高いのか。

●指定ごみ袋の方が高い。

○それなら、ごみシール方式が良い。

●皆さんの中で無償配布分のシールが足りなくて買っている方はいるか。

○我が家は家族が多いので、買っているかもしれない。

●それでもごみシール方式がいいか。

○やはり慣れているので。

○無償配布分のシールは毎回出していたら足りないの、冬場は3日のうち1日は出さずに、やりくりしている。

○我が家はかなり余る。

○グループホームは足りないという話を聞く。

【ごみカレンダー】

●ごみカレンダーについて、これも市長へのたよりで寄せられた意見だが、新潟市のごみカレンダーは通常のカレンダー方式のごみカレンダーになっていて、例えば、11月1日はプラスチックというようにカラーで表示されている。一方、阿賀野市はプラスチックは○月の○日と○日というように表形式になっている。新潟市のものを見たことがない方はイメージしづらいと思うが、現在の阿賀野市のごみカレンダーについて、見にくいとか、様式を変えてほしいとか意見はあるか。

○祝日に出せる日が下の方に書いてあるが、とても分かりにくい。

○缶・ビンなどの燃えるごみ以外の収集日はカレンダーに転記している。

●カレンダーに転記している方が多いらしく、それが手間だという意見をいただく。

○燃えるごみは祝祭日回収されないのに、祝日だということが頭から抜けて曜日だけで出しているためか、間違ってお出されていることがある。

○月水金の回収だが、月曜日は祝日、振替が多い。統計などして回収日を平等にできないのかと思う。

○祝日に特別回収があったり、回収しない日に誤って出したりとかあるので、やはりパッと見て分かるカレンダー方式がいいかもしれない。

○(燃えるごみ以外の)回収日をカレンダーに書き写したつもりが、違う日に書いていたという話を聞いたことがある。

●ただ、カレンダー方式は若干サイズが大きくなるので、かさばる。

○1枚の紙に12か月分が掲載されているのか。

●新潟市の場合、両面刷りで、片面6か月分である。サイズはA2サイズ。

○費用はかかるかもしれないが、1か月ごとにめくる様式はどうか。

【冬季の道路環境】

○除雪車は朝一番で走ることが多いが、その後に道路に雪を出す人が結構いて、道路がデコボコになって固まり、どんどん走りにくくなるのをよく見る。過去にそのことを市に連絡したら「地元のことは地元で何とかしてください」と言われた。雪を捨てる場所がないのは分かるが、道路に出されてガタガタになって事故が起きたら誰の責任かと思う。市から(道路に雪を出す人に対して)強く注意したり、道路に雪が捨てられた後に再度除雪車を出したりできないかなと思う。

●基本的には敷地内の雪を道路に出す行為は禁止されていて、広報あがの12月号に除排雪のルールとして、敷地内の雪は道路に出さないことをお願いしている。毎年掲載してはいるが、マナーが徹底されていない。豪雪地帯の十日町などでは、住民が屋根の雪など、敷地内の雪を道路に出した後に除雪車で除雪しているが、阿賀野市の場合は、そこまでの対応はしていない。

ただ、敷地内の雪を道路に出す行為が集落内で解決をお願いする問題かどうかという部分もあるので、こちらから担当課に伝えたい。

○京ヶ瀬体育館の駐車場に車を止めることがある。3年前の大雪のとき、駐車場の消雪パイプだけでは雪が消えずに残ってしまった部分があり、小中学校の行事があったりすると、先生たちもそこに車を止めることがあって、駐車スペースがなかった。基本的に消雪パイプがある場所には除雪車は入らないのか。

●消雪パイプがある場所は機械除雪路線から外れる。ただ、大雪で消雪パイプだけで融雪できない場合は機械除雪を行った事例はある。

○もしそういう状態であれば、市にお願いすれば入っていただけるものか。

●そういった要望があれば対応はするが、おそらく大雪時は他の場所も除雪が必要なので、1級道路や交通量の多い道路などを優先的に実施した後になる。

○建設課はパトロールをしているが、全ての状況までは把握できない。阿賀野市は広いので、場所によって雪の降り方が違う。「このまま雪が降り続いたら大変なことになりそうだ」と建設課に電話したら、逆に情報を教えてほしいと言われた。どうしても、たくさん雪が降る山手に目が向きがちなので、平場の道路状況、消雪パイプがほとんど入っているので、そこを見ている限りではそれほどでもないが、消雪パイプのない場所が今どんな状況なのかと。3年前の大雪の時は、消雪パイプがあっても、通学路が

轍2本しかない状態が4、5日続いた。当時は手が回らない状況だったと思うが、文句ではなくて、今の状況を伝えることも時には必要なのかもしれない。

○このくらい積もったら出動するなどの基準はないのか。

●除雪の基準は積雪 10 センチ。ただし、その時は 10 センチを越えていなくても、この降り方だと超える見込みがある場合は出動することがある。

○除雪のボランティアとか雇えないのか。個人に委託とか。この地区はこの人がやってくれるみたいなの。

●高齢者世帯等の除雪ボランティア活動をしている自治会に対して補助を行っているほか、高齢者等が除雪業者を依頼した時の費用の一部を助成している。

○稲刈りだと頼んだらいくらとかある。同じように除雪を頼んだらいくらみたいにしたらどうか。

●ボランティアの人数に対して大雪が降ったときの需要がかなり多いので、需要と供給のバランスがどうかという部分は正直ある。ドカッと降ったときに対応してほしいという需要が多いと思うので…。

○昔からの新興住宅地は、築 40 年、築 50 年という家が多くなってきたので、雪下ろしをした。1軒始めると、うちもうちもということで手が足りない。

○消雪パイプがあるが出ないところがぼつぼつある。修理の基準はあるのか。

●一応降雪シーズン前に、消雪パイプが出るか穴をつついてチェックはしている。

○原因はノズルが古いか、詰まっているかだと思う。自治会で自主点検やると、市から協力金が出る。建設課に申し込むと点検箇所を指定される。通行量の多いところは危険なので市でやる。つづいても出ないとか、古くてつぶれているとか、水量調節がマイナスドライバーで硬くてもう回らないとか分かるので、それを建設課に報告すれば、すぐは無理でも修繕計画に乗る。

○ノズルの問題ではなくて、一斉に水を出すと地下水の水位が下がるので、水が引っ張れなくなるのではないかな。

○自治会に言えばいいのかな。

●自治会経由で、出ない場所を建設課に報告してもらいたい。

○水位が下がるのは、ピーク時に一齐に水を出さないと分からないと思う。点検の時にはどこも使っていないから水位は下がらない。点検で出ても、一齐に使って出ないというのは結構あると思う。

【APOポイントカード】

○APOカードを持っている人は今どれくらいいるのか。

●現時点で何人持っているか把握できていない。

●クレジットカード等は個人情報が入っているので、その人がどこで、どういうことで使っているとか、追えるが、APOカードはそういう情報が入っておらず、誰でも使えるようになっている。

○6か月間使わないとポイントが失効するのは短すぎる。

○カードを使う店が限られている。ウオロクで使えるとよい。

○ポイントを使うところがないのが困る。紫香園も載っているけど、ウオロクの中の紫香園では使えなかった。

○子どもが生まれたときに10,000ポイントもらったけど、使ってない。

○ポイントを付与して健康診断とか研修とかに参加してもらうのも目的の一つ。

○だからこそポイント失効期間を1年間に延ばしてほしいという話をよく聞く。健康診断は年1回だし、溜まっていると思ったのにゼロになっていたらもう行かないとなる。

○使えるお店を増やしてほしい。

○そこだと思う。使う場所が無かったら元も子もない。佐藤肉屋は使えることになっているが、店員さんがポイントのやり方が分からなくて、カードを出したのにポイントを使えなかった。

○それはAPOカードを使っている人があまり来ないということ。

○APOカードはチャージもできない。買ってポイント貯めて、結局持ってないとポイントは溜まらないし、持っても使うところがないし。チャージで1,000円入れたら

1,500 円分ポイントが付くならいい。等価交換だと魅力がない。

○ポイントの失効日が磁気でカードに表示されれば、ポイントを失効する人が減るのではないか。

【児童虐待防止】

○阿賀野市の児童虐待は年間 80～90 件くらいあると聞いた。発見するのは学校が多く、隣近所の人ほぼゼロに近いそう。第2回の会議で、お年寄り集まりがあっても出てこないという話があったが、地域の人を地域で守る仕組みが必要ではないか？ また、児童虐待の法律が変わり、親がきつい言葉言うだけでも虐待になるとか。その辺を広報などでもPRしたらどうか？

●法律が改正された際、児童虐待防止月間の関連で、広報紙に掲載したことはある。

○家出をしてその辺をふらふらしている子どもが阿賀野市にもいるみたいで、警察が補導するとか聞くと、都会だけの話ではないのだと思う。そういう家の親は子どもに興味ないなどと聞いたりすると、同じ親としてさみしく思う。

【阿賀野高校の校内居場所カフェ】

○11 月 11 日、阿賀野高校の校内居場所カフェが第1回オープンした。新潟県の県立高校で初めての校内居場所カフェである。今は(新型コロナウイルス感染拡大の)注意報が出て、2回目はいつ実施できるか分からない状況になってしまったが、市役所としてできることを考え、直接的支援でなくてもバックアップしていただければと思う。

【市内の新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

○春先の新型コロナウイルスが未知の中で感染が広がってきたときと違って、今はみんな注意しているが、県内でもクラスターが発生しており、今はどこで発生してもおかしくない状況である。例えば、市役所 1 階の執務状況を見ると、対策はしているものの、職場環境ということだけで見れば、机の間隔が広がっているわけでもないし、人員半分どこかへ移しているわけでもなく、春とほとんど同じである。そういうことを考えると、市役所だけの話ではないが、ライフラインを守る必要な機関には発生しないでほしいと切に願っている。